第１回福島市あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業検討委員会会議録（概要版）

日 時　平成 29 年 7 月 11 日（火）
13:30～14:29
会 場　福島市市民会館 502 号室
出席者 委員６名、事務局 11 名

【会議内容要旨】

１ 検討委員会設置要綱について（ 資料１ ）

原案のとおり了承

２ 委員長・副委員長選出

委員より事務局案提案の声があり、提案により了承、選出

委員長　　樋口良之　委員　福島大学共生システム理工学類教授
副委員長　佐藤理夫　委員　福島大学共生システム理工学類教授

３ 議　事

（１）報告事項１　福島市の清掃事業について（清掃事業概要）
（２）報告事項２　あぶくまクリーンセンターの施設の概要について（ 資料２ ）
（３）協議事項１　日程について（ 資料３ ）
原案のとおり了承
（４）協議事項２　情報公開について（ 資料４ ）
委員より提案があり、表現は委員長と事務局に一任することで了承
（５）その他

【質疑応答要旨】

（１）報告事項１　福島市の清掃事業について

① ごみの量について

〔質問〕

ごみの排出量が多いとのことですが、震災前の平成 22 年度と平成 27 年度　の収集量を比較すると５％まで増えておらず、収集戸数は約 5%増えており、住民登録をしていない避難者や除染作業員も考慮すれば１戸当たりの排出量は減少しているのではないですか。

〔回答〕

収集戸数で割るとそのような傾向が見て取れないこともないですが、今後数年は傾向をみないといけないと考えています。また、１人１日当たりの排出量からみると、全然楽観視できるような状況ではありません。

１人が１日当たりに出すごみの量が 1,310g で、人口１０万人以上の都市で福島市がワーストワンです。そこから除染活動から発生したごみを除いた場合の１人１日

当たりのごみの排出量には 1,297g となり、推測値ですが更に避難者と除染作業員を人口に含めた場合の１人１日当たりのごみ排出量は 1,165g になります。1,165g だと全 267 市町村中 254 位となり、最下位ではないですが、まだ多い状況であります。

（２）報告事項２　あぶくまクリーンセンターの施設の概要について（資料 2）

（委員からの意見なし）

（３）日程について（資料 3）

（委員からの意見なし）

（４）協議事項２　情報公開について（ 資料４ ）

① 情報公開について

〔質問〕

いろいろ細かい情報に基づいて議論されるということで、公開を控えたほうがいい状況も出てくるという理解から会議は原則非公開という提案だと思います。会議は原則公開で、こういう情報の時は非公開にするという感じの言い方が多いのですが、初めから全面的に原則非公開とするのは、何か理由があるのですか。

〔事務局回答〕

委員会で検討を進めて行く中で、例えば会社や、その炉形式に対してもいろいろな知見があることから、会議については原則として非公開とした方が、意見がより出やすく、また、その知見についてより多くの事を勉強させていただけるのではとのことから情報公開について原則非公開としました。

〔委員提案〕

はじめから限定すると公開の精神に反するので、原則は公開とし、内容によって委員長が非公開とすることで傍聴を禁止してはどうでしょうか。会議の資料は原則公開で、議事録も委員の先生方の了解を得た上で概要版を公開するというイメージで、表現については委員長と事務局に一任することでお願いします。

〔協議結果〕

委員からの提案を尊重した内容として、委員長と事務局に表現を一任することで了承。